



SPECIAL TALK SESSION

栄ミナミ音楽祭はどんな思いをもって行われているのか？ミュージシャンたちは何を求めて参加し演奏するのか？迎える側・やって来る側、両者の本音がブツかり合った時、「栄ミナミ音楽祭」の“真実”が浮かび上がる！

▶ 音楽祭以降、伝統行事にも参加してくれる地元の人が増えたんす(深田)

深田>> 栄という街は、1日数十万人が行き来する繁華街で、ファッションもグルメもあり、その一方で何世代も前から住んでいる人もいます。全国でも珍しい多様な要素、歴史、魅力を持った街です。さらにここからの文化の発信があればもっと面白くなる。「栄ミナミ音楽祭」はそのような思いから始まったイベントなんです。

根本>> 街中の屋外で行われるフェスティバルって、歩いていてどこからともなく音楽が聴こえてくる、そこがいいんですよね。すごくワクワクするし、演奏する側からすると、僕らのことを知らない人たちにも聴いてもらえるのが嬉しい。

深田>> もともとこの地域は、徳川家が京都と同じ街を作ろうと考え整備したところなんです。そこに尾張藩第7代の徳川宗春という非常に面白い殿様が現れて、芸能を奨励し、日本中の芸人がみんな名古屋に集まった。知的レベルも高く、当時、女性の識字率が70%以上だったと言います。お武家さんも町衆もみんなが音楽や芸能を楽しんだ、歴史上非常に珍しい街なんです。私自身、幼い頃から芸妓さんの三味線を聴いて育ちました。常に街に音楽が溢れていたその頃の活気を、音楽祭をきっかけに取り戻せたらと思うんです。

▶ 名古屋でだけウケているものがいっぱいあればいい(根本)

根本>> 長年、ツアーで全国を回ってきて感じるんですが、今の日本は「東京」と「その他の地方」で出来上がっていると思うんです。東・名・阪という言い方があるけど、文化的に言えばアンチ東京と言え大阪、そして地方の一番のまとめ役は名古屋だと思うんです。都市としての便利さも十分あるし、独自の食べ物や個性もある。愛知万博だってちゃんと成功させてるし、メインストリームではないけれど、上手においしい部分は持っているソツのなさがある。自分の力やポジションをちゃんと見きわめて結果を出す賢さがあると思うんです。僕も自分のバンドを“出ない杭は打たれない”と評してはるんですが(笑)、名古屋には相通じるのを感じます。

根本>> プロのミュージシャンの完成された音楽を聴くだけでなく、音楽をやりたいという人を増やせるような場にもなるといいですね。例えばプロが一般の人に教えるギタークリニックやドラムクリニックを開いたり。僕はMCクリニックくらいしかできないけど(笑)。あとは、音楽に限らず、絵を描く人とかジャズとか、いろんな種類のアーティストが自然と集まってきたり。この日、ここでしか出会えない何かがいっぱいある、そんなイベントになったら最高ですね。

深田>> プロのエンターテイナーの方たちと触れ合えるのは、私たちにとっても楽しみです。また、昨年第1回(vol.0)を実施して思わぬ効果もありました。多くの町内の人たちが、清掃や交通整理のボランティアとして協力してくれたのですが、その後、神社のお祭りやお正月の餅つきなど、町内の伝統行事に参加してくれる地元の人が増えたんす。音楽祭をきっかけに、時代とともに薄まりがちだった地域のつながりが強くなりました。

根本>> それはすごいですね！僕もいろんなイベントに参加してきましたけど、実際そんなふうに街に対する効果や変化があったと聞くのは初めてです。

深田>> でも、どうも名古屋の人はそれを外にアピールするのが苦手。実際に生活しているところになく住みやすい街はないんですがね。転勤で名古屋へ来て、定年後も名古屋に根を下ろす人も多いんですよ。

根本>> 「住みやすい町ランキング」みたいな調査がよくありますよね。でも、あれって調査する側がいろんな指標を立てて判断するもので、自然との共存であったり、のどかさであったり、ある種の「脱・便利さ」とか「脱・東京」を感じる便利さや物価も含めて実際に住んでいる人の声を集めて順位をつけたら、名古屋はかなり上位になるんじゃないですか。

深田>> 栄地区は、繁華街の真ん中でありながら、緑がたくさんあって公園もある。物価も安い。でも、中にいると意外とその魅力に気づかないものです。最近、栄にマンションが増えているんですが、建てているのは大体、東京の不動産業者なんです。

根本>> (笑)。でも、新しい人たちが流入しやすいことは、街にとって大事ですよな。

深田>> ええ。しかし、引っ越してきた人たちに地域に溶け込んでもらうためには、活動している町内会がなければいけません。ですから、昨年の音楽祭以降、町内のつながりが強まったことはすごく意味がある。昔からの住人にとってだけでなく、新たに入ってきた人たちにとっても住みやすく楽しい街であるべき。音楽祭はそんな街づくりの一環でもあるんです。

根本>> 名古屋の人たちには誰も知らない面白いモノに気づく力がある。名古屋でだけでもすごく人気があるバンドやアーティストがいたり、最近の食べ物でいったらあんかすバゲティとか(笑)。僕は、そんなふうにしてその街だけでウケてるものがいっぱいあればいいと思うんですね。全国どこへ行っても同じ音楽が流行ってるなんてつまらないじゃないですか。それよりも、名古屋

▶ 出演者も観客も、みんなが楽しめる音楽祭は街そのものも楽しくする(深田)

根本>> 野外のフェスティバルは知らなかった音楽やバンドとの出会いも醍醐味。栄ミナミ音楽祭も、まだ名古屋でしか知られていなかったり、ここでしか観られないバンドがたくさん出る場になるといいですね。例えばそれはプロじゃなくてもいい。地元の小・中学生の歌とかあったっていいじゃないですか。

深田>> それがあるんです。今年は中学生の合唱隊に出演してもらいます。また、名古屋は実力ある高校生プラスバンドも多いので、将来的にはプラスバンドのマーチングもやれたら、と考えています。

根本>> 本当ですか！うわー、スバラシイ!!(思わず拍手する)音楽をやる人間にとって、普段と違った環境で演奏するチャンスってすごく大事なんです。音楽って1人で描く絵など違って、聴いてくれる人がいて初めて成り立つもの。だから、たくさんリスナーの前で演じられることは、将来へ向けてのモチベーションの向上にもなるんです。

深田>> 今年はジャズやクラシックの方たちも出るし、昨年以上にいろんな音楽にふられる2日間にしたと思っています。根本さんは、どんなことをやるか、もう考えていらっしゃいますか？

根本>> 僕はスターダスト・レビューのヴォーカル&ギターで27

だけで人気がある、名古屋でしか観られない、そういうものをいっぱい持って、東京やその他の地域の人の目をこっちに向かせればいいんです。

深田>> 名古屋の人が声を大にして言える文化や楽しさを、この音楽祭を通して作っていきたいですね。発起人の1人が“10年は続けます!”と言ってたんですが、私は“何を言ってる!400年は続ける!!”と言っています(笑)。

根本>> 今回の音楽祭にはセンチメンタル・シティ・ロマンスも出演しますね。名古屋出身のセンチのようなバンドが、30年以上も活動し続けていること自体、街にとって誇るべきことですよ。日本にまだロックが根付いてなかった頃から確かなロックを演っていたバンドで、音楽に関心のある連中はみんな注目していました。それでいて、名古屋のバンドという“地元感”をしっかりと持っている。彼らと同じフェスティバルに出られることも、僕にとってはすごく楽しみです。



年演奏して来ているんですが、今回はソロでの出演ということで、アコースティックギター1本という利点を生かしてお客さんの空気を見ながら臨機応変に出来ればいいかな、と思うんですね。いつものバンドとは違った自分の声だけで楽しんでもらおうと思っています。もちろんMCもね。

深田>> 根本さんをはじめ、出演者にも楽しんでもらいたい。お客さんにもミュージシャンの皆さんにも、来てよかったと思ってもらえる音楽祭にしたいんです。私がいつも考えているのは“住んで楽しい街づくり”。みんなが楽しくなれる音楽祭は、街そのものを楽しくするきっかけとなるものなんです。

根本>> この音楽祭が“街を盛り上げたい”という熱い気持ちで運営されていることがよく分かりました。そんな場所に呼んでもらえるのは、ミュージシャンとしてすごくうれしい。きっと面白いことになりませう！僕も今からすごく楽しみになってきました。皆さんも是非会場で楽しんで下さい。



対談の場所 ■料亭 萬茂(つたも) 名古屋市中区栄3-9-27 Tel 052-241-3666

プロフィール

根本要 / 今年でデビュー27年目を迎える日本を代表する長寿バンド「STARDUST REVUE」のヴォーカル&ギターリスト。現在まで31枚のアルバムと47枚のシングルを発表。衰えを知らぬハイトーンボイスは、ポップで流麗なスタレピ・サウンドのまさしく“要”。栄ミナミ音楽祭にはめったに見られないソロで出演。

深田正雄 / 料亭 萬茂の1人息子として生まれ、アメリカでのホテル勤務などを経て家業を継ぐ。地域の活性化や環境改善などの活動にも力を注いでいる。尾張の歴史・文化に精通し、深流釣りの腕前は玄人はだしという趣味人でもある。

